

本時のねらい

- ・自分で電車の切符を購入し、目的地に向かう計画を立てられるようになる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・学校から駅まで、また、駅から目的地までのルート調べるために「マップ」の機能を使用して調べる。
- ・乗車する電車の運賃や乗り換えについて、Microsoft Edge を使用して調べる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・発表ノート [SKYMENU Cloud] ・Microsoft Edge (調べ学習として)

本時の展開 (全 10 時間計画 : 4 時間目)

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (8 分)	1. 帯活動 ・オンライン計算ドリルで計算の練習をする。 2. 本時の説明 ・本時の目標を確認する。 「目的地までの電車の乗り方を調べ、目的地まで行く計画を立てる」	・フラッシュカードのように出題される計算を解く。ゲーム感覚で解くことができるので、楽しみながら計算を学ぶことができる。 ・本時の目標を確認しながら、検索の仕方などを前回の学習内容を確認しておく。
展開 (32 分)	3. 目的地までの電車の乗り方を調べる。 ・乗車する電車、運賃、乗り換え地点を検索する。 【写真 1】 ・わかったことを発表ノートにまとめる。 【写真 2】 4. 学校から最寄り駅までのルート調べる。 ・Microsoft Edge を使用して調べる。 ・ルートの画像を発表ノートに貼り付ける。 【写真 3】	・取組みの様子を見ながら、困っている様子があれば、「検索の仕方」「保存の仕方」「IME パッドの使い方」「画像の貼り付け方」などをもう一度おさらいし、自分でできるよう指導する。
まとめ (10 分)	5. 振り返り ・できたページを確認する。 ・この時間の振り返りをする。	・作成したページを自分でもう一度確認させ、本時の目標が達成できたかを振り返らせる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】：電車や乗り換える駅を検索しています



【写真 2】：地図からルートを確認しています



【写真 3】：作成した発表ノート

児童生徒の反応や変容

- ・実際に校外学習で行く目的地であったこともあり、生徒は目的意識をもって学習することができた。
- ・乗り換えが複雑ではあったが、正確にルート検索を行うことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・今後生活していくうえで、電車などの公共交通機関に乗ることや、目的地に到着するためにルートを検索するスキルは必須である。この学習では、検索、まとめる、お金の計算など、生きるために必要なスキルを、複合的に育むことができる。